

《Ⅳ教育目標の達成度と教育の効果》の記述及び資料等について

【単位認定について】

(1) 次の「単位認定の状況表」を例に、単位認定の方法と評価の実態を記載して下さい。なお、この表は平成18年度卒業生が入学時より卒業までに履修した科目について作成して下さい。

創価女子短期大学・単位認定状況表

①地球市民教養科目

種別	授業科目名	授業形態	履修人数	主な単位認定の方法	単位取得状況 %			最終の評価 %					
					本試	再試等	計	④	A	B	C	D	
人間教育科目	世界の文学	講義	32	定期試験、平常点、出席	100	0	100	6	47	44	3	0	
	日本の文学	講義	112	定期試験、平常点、出席	98	0	98	3	40	54	1	2	
	法学入門	講義	185	定期試験、出席	97	1	98	5	29	53	11	2	
	経済入門	講義	244	定期試験、出席	94	0	94	2	31	49	12	6	
	心理学入門	講義	111	定期試験、平常点、出席	93	3	96	13	36	29	18	4	
	哲学入門	講義	198	定期試験、レポート、出席	98	1	99	1	52	39	7	1	
	歴史	講義	51	定期試験、レポート、出席	94	2	96	0	46	46	4	4	
	西洋史入門	講義	27	定期試験、出席	92	0	92	0	39	46	8	8	
	生命を考える	講義	48	定期試験、レポート、出席	96	2	98	4	42	48	4	2	
	女性学	講義	181	定期試験、出席	99	1	100	3	36	50	11	0	
	芸術入門	講義	70	定期試験、レポート、出席	98	0	98	0	42	57	0	2	
	現代社会と健康	講義	4	定期試験、出席	100	0	100	25	0	50	25	0	
	文章表現入門	講義	305	定期試験、平常点、出席	99	0	99	0	63	31	5	1	
	コンピュータ入門	演習	349	定期試験、実技テスト、課題、出席	100	0	100	3	40	52	4	0	
	地球市民教養科目	地球市民と現代社会	講義	237	定期試験、レポート	98	0	98	5	38	55	1	2
		20世紀の国際関係	講義	146	定期試験、出席、平常点	100	0	100	5	30	38	27	0
		冷戦後の国際関係	講義	104	定期試験、出席、平常点	99	1	100	5	42	43	11	0
		地球社会と平和	講義	116	定期試験、ディスカッション、貢献度	99	1	100	10	43	47	0	0
		人間社会と環境問題	講義	48	定期試験、小テスト・レポート、出席	100	0	100	4	42	54	0	0
		貧困と開発	講義	114	定期試験、レポート	97	0	97	3	34	57	3	3
		21世紀と人権	講義	81	定期試験、課題発表、出席	100	0	100	4	37	58	2	0
		女性のための法律	講義	173	定期試験、平常点	99	0	99	3	35	50	10	1
		国際ボランティア入門	講義	82	定期試験、レポート、発表	99	1	100	6	43	45	6	0
		異文化コミュニケーション	講義	77	定期試験、発表、出席	100	0	100	9	40	44	7	0
		現代アメリカ事情	講義	79	定期試験、出席、平常点	100	0	100	4	43	42	11	0
		現代アフリカ事情	講義	88	定期試験、平常点	100	0	100	5	28	50	17	0
現代アジア事情		講義	54	定期試験、発表、出席	100	0	100	4	43	39	15	0	
イタリアの言語と文化Ⅰ		演習	46	定期試験、出席	96	2	98	0	37	46	15	2	
イタリアの言語と文化Ⅱ		演習	27	定期試験、出席	96	0	96	0	37	52	7	4	
イタリアの言語と文化Ⅲ		演習	17	定期試験、出席、小テスト、平常点	100	0	100	6	41	53	0	0	
イタリアの言語と文化Ⅳ		演習	11	定期試験、出席、小テスト、平常点	91	0	91	9	36	36	9	9	
中国の言語と文化Ⅰ		演習	129	定期試験、平常点	99	0	99	1	64	34	0	1	
中国の言語と文化Ⅱ		演習	77	定期試験、平常点	99	0	99	5	34	60	0	1	
中国の言語と文化Ⅲ		演習	33	定期試験、平常点	100	0	100	6	25	53	16	0	
中国の言語と文化Ⅳ	演習	20	定期試験、平常点	100	0	100	10	32	58	0	0		
初めてのハンブルⅠ	演習	57	定期試験、小テスト、宿題、出席	100	0	100	5	63	26	5	0		
初めてのハンブルⅡ	演習	33	定期試験、小テスト、宿題、出席	97	0	97	6	45	45	0	3		

②現代ビジネス学科

現代 ビジネス 学科 ・ 専門 基礎 科目	スキル 科目	Composition	演習	191	定期試験、宿題、貢献度、出席	98	1	99	2	30	55	12	1
		English Communication	演習	190	定期試験、宿題、貢献度、出席	99	0	99	2	45	42	11	1
		Reading and Vocab.	演習	29	定期試験、宿題、貢献度、出席	100	0	100	0	41	44	15	0
		Basic Academic Skills	演習	41	宿題、貢献度、出席	100	0	100	2	44	51	2	0
		English for Academic Prep	演習	13	出席、貢献度、宿題	100	0	100	8	46	46	0	0
		Project English	演習	13	出席、貢献度、宿題	100	0	100	8	38	54	0	0
		Business Communication	演習	23	出席、貢献度、宿題	100	0	100	9	39	43	9	0
		Reading and Response	演習	26	定期試験、宿題、貢献度、出席	92	4	96	4	56	20	16	4
		Reading	演習	10	担当者により異なる。	100	0	100	0	10	90	0	0
		Composition & Present.	演習	10	担当者により異なる。	100	0	100	90	10	0	0	0
		Intensive English	演習	85	担当者により異なる。	100	0	100	1	58	40	1	0
		ビジネスコンピューティングⅠ	演習	160	実技試験、課題、出席	100	0	100	3	40	56	1	0
		ビジネスコンピューティングⅡ	演習	130	実技試験、課題、出席	100	0	100	2	37	52	9	0
		マルチメディア演習Ⅰ	演習	65	製作発表、出席	100	0	100	0	30	70	0	0
		マルチメディア演習Ⅱ	演習	16	製作発表、出席	100	0	100	13	33	40	13	0
	グラフィックデザイン入門	演習	57	出席、課題、スラップファイル	96	0	96	4	40	48	4	4	
	プレゼンテーション入門	演習	69	実技試験、出席	100	0	100	1	42	54	3	0	
	リテ ラシー 科目	現代ビジネス概論	講義	193	定期試験、中間テスト、レポート	96	1	97	5	41	42	9	3
		ビジネス実務概論	講義	191	定期試験、平常点	99	0	99	1	19	70	9	1
		ビジネス実務演習	演習	64	定期試験、平常点	95	3	98	0	27	70	2	2
現代簿記入門		講義	201	定期試験、平常点	81	11	92	4	25	39	23	8	
証券市場の基礎		講義	50	定期試験、小テスト、レポート、出席	96	0	96	4	46	46	0	4	
ビジネスライティング		講義	76	定期試験、平常点	96	1	97	4	28	54	12	3	
ビジネスと商法		講義	52	定期試験、出席、レポート	92	0	92	4	43	39	6	8	
ビジネスと民法		講義	39	定期試験、出席	100	0	100	3	44	49	5	0	
税とビジネス		講義	61	定期試験、宿題	90	7	97	16	36	36	9	3	
テーマ 科目	現代ビジネス事情	講義	195	定期試験	94	5	99	4	36	45	14	1	
	Int. Bus. Topics	講義	12	定期試験、課題、貢献度、出席	100	0	100	0	50	50	0	0	
	Int. Bus. Issues	講義	18	定期試験、課題、貢献度、出席	88	0	88	6	35	29	18	12	
	Asian Political Econ.	講義	12	定期試験、課題、出席	75	0	75	8	33	33	0	25	
	入門セミナー	演習	91	担当者により異なる。	99	0	99	4	90	4	1	1	
	海外特別講義Ⅰ	講義	85	担当者により異なる。	100	0	100	0	54	45	1	0	
	海外特別講義Ⅱ	講義	10	担当者により異なる。	100	0	100	10	50	40	0	0	
	海外特別講義Ⅲ	講義	10	担当者により異なる。	100	0	100	0	40	60	0	0	
現代 ビジネス 学科 ・ 専門 科目	国際 ・ 環境 と ビジ ネス	企業と環境	講義	44	定期試験、レポート、出席	98	0	98	5	40	30	23	2
		国際会計論	講義	10	定期試験、発表、質疑応答	89	0	89	0	11	33	45	11
		国際金融論	講義	57	定期試験、出席	98	2	100	5	36	52	7	0
		国際経営史	講義	40	定期試験、課題、出席	100	0	100	6	31	56	8	0
		国際経営戦略論	講義	25	定期試験、課題、出席	92	4	96	4	44	48	0	4
		国際経済論	講義	49	定期試験、レポート	87	0	87	4	35	44	4	13
		Int. Bus. Affairs	講義	11	定期試験、課題、レポート、出席	90	0	90	10	40	30	10	10
	情報 ・ 会計 と ビジ ネス	応用簿記	講義	44	定期試験、平常点	91	0	91	2	27	43	18	9
		デジタルエコノミー論	講義	99	定期試験、小テスト、課題、出席	97	1	98	3	33	55	8	2
		情報化社会概論	講義	195	定期試験、課題、出席	96	0	96	2	30	55	9	4
		財務会計論	講義	182	定期試験、出席	96	4	100	5	39	32	24	0
		財務管理論	講義	7	定期試験、レポート、出席	100	0	100	0	29	43	29	0
		経営分析論	講義	17	定期試験、レポート、出席	100	0	100	0	29	64	7	0
		会計情報論	講義	10	定期試験、質疑応答、発表	100	0	100	0	40	50	10	0

現代 ビジネス 学科 ・ 専門 科目	人間・ 社会 と ビジネス	ビジネスエッセイ	講義	103	定期試、発表、ディスカッション、出席	98	0	98	5	63	30	0	2
		人事管理論	講義	161	定期試験、レポート、出席	96	1	97	4	42	46	5	3
		現代マーケティング	講義	74	定期試験、レポート	96	0	96	3	23	55	15	4
		産業社会と健康管理	講義	72	定期試験、出席	98	1	99	4	39	43	13	1
		ビジネスと知的財産権	講義	136	定期試験、出席	98	1	99	9	38	46	7	1
		現代金融論	講義	107	定期試験、出席	95	1	96	4	40	45	8	4
	その他	外書講読Ⅰ	演習	22	担当者により異なる。	90	5	95	9	32	50	5	5
		外書講読Ⅱ	演習	5	定期試験、発表、出席	80	0	80	0	40	0	40	20
		ゼミナールA	演習	140	担当者により異なる。	100	0	100	3	83	4	0	0
		ゼミナールB	演習	139	担当者により異なる。	100	0	100	5	84	7	4	0

### ③英語コミュニケーション学科

英語 コミュニ ケーション 学科・ 専門 科目	基礎 科目	English Communication I	演習	159	定期試験、出席、平常点	98	0	98	5	47	39	7	2
		English Communication II	演習	130	定期試験、出席、平常点	99	0	99	4	34	47	15	1
		Reading I	演習	160	定期試験、レポート、発表	95	4	99	4	23	59	13	1
		Reading II	演習	160	定期試験、レポート、発表	98	1	99	4	29	59	6	1
		Composition I	演習	159	定期試験、貢献度、インフォーマルテスト	98	1	99	4	37	51	7	1
		Composition II	演習	158	定期試験、貢献度、インフォーマルテスト	100	0	100	4	43	36	17	0
		Listening I	演習	164	定期試験、平常点	92	4	96	4	37	38	17	4
		Listening II	演習	159	定期試験、平常点	95	4	99	6	41	38	14	1
		Eng. Skills for TS	演習	61	定期試験、出席、発表	98	0	98	2	26	48	23	2
	応用 科目	Intermediate Eng. Com.	演習	99	課題、宿題、レポート、貢献度、出席	99	0	99	2	48	41	7	1
		Advanced English Com.	演習	44	課題、宿題、レポート、貢献度、出席	98	0	98	2	32	50	14	2
		Advanced Writing	演習	53	定期試験、課題	98	0	98	0	28	70	0	2
		Advanced Listening	演習	46	定期試験、平常点	100	0	100	2	37	48	13	0
		Business Communication I	演習	76	定期試験、貢献度、課題、出席	97	0	97	3	46	37	12	3
		Business Communication II	演習	34	定期試験、貢献度、課題、出席	100	0	100	6	35	41	18	0
		英語通訳法Ⅰ	演習	77	定期試験、出席、平常点、小テスト	99	0	99	5	39	49	5	1
		英語通訳法Ⅱ	演習	35	定期試験、出席、平常点	100	0	100	6	47	21	26	0
		英語通訳法Ⅲ	演習	9	定期試験、出席、平常点	100	0	100	11	33	33	22	0
		観光英語Ⅰ	講義	137	定期試験、平常点	98	1	99	7	39	46	8	1
		観光英語Ⅱ	講義	123	定期試験、平常点	100	0	100	7	33	52	8	0
		Topic Studies IA	演習	90	定期試験、貢献度	98	0	98	4	33	52	8	2
		Topic Studies IIA	演習	28	定期試験、出席、発表	93	0	93	0	25	54	14	7
		Topic Studies IIIA	演習	65	定期試験、平常点	100	0	100	5	28	35	32	0
		Topic Studies IVA	演習	10	定期試験、出席、発表	100	0	100	10	40	40	10	0
		Topic Studies VA	演習	31	定期試験、発表	89	0	89	4	25	39	21	11
		Topic Studies IB	演習	131	定期試験、貢献度	100	0	100	2	44	48	6	0
		Topic Studies IIB	演習	25	定期試験、出席、発表	100	0	100	0	32	64	4	0
		Topic Studies IIIB	演習	70	定期試験、平常点	97	1	98	6	42	30	20	2
		Topic Studies IVB	演習	10	定期試験、出席、発表	100	0	100	0	56	33	11	0
		Topic Studies VB	演習	19	定期試験、発表	100	0	100	6	35	35	24	0
		CALL I	演習	100	定期試験、課題、出席	94	1	95	5	26	53	11	5
		CALL II	演習	75	定期試験、課題、出席	98	1	99	5	39	40	15	1
		アメリカ文学	講義	55	定期試験、平常点	100	0	100	2	38	51	9	0
		イギリス文学	講義	30	定期試験、平常点	94	3	97	0	13	77	7	3
英米演劇		講義	30	定期試験、平常点	80	0	80	3	13	50	13	20	
ゼミナールA		演習	131	担当者により異なる。	100	0	100	2	91	7	0	0	
ゼミナールB	演習	131	担当者により異なる。	99	0	99	5	84	6	5	1		

英語コミュニケーション学科・専門科目	資格・実務科目	特殊演習Ⅰ	演習	61	定期試験、平常点	100	0	100	0	23	54	23	0
		特殊演習Ⅱ	演習	32	定期試験、出席	97	0	97	3	34	38	22	3
		特殊演習Ⅲ	演習	82	定期試験、TOEIC演習テスト	86	3	89	2	33	39	15	11
		特殊演習Ⅳ	演習	30	定期試験、TOEIC演習テスト	97	0	97	3	33	60	0	3
		特殊演習Ⅴ	演習	52	定期試験、課題、出席、小テスト	100	0	100	10	40	50	0	0
		ビジネスコンピューティングⅠ	演習	116	実技試験、課題、出席	100	0	100	1	37	62	0	0
		ビジネスコンピューティングⅡ	演習	79	実技試験、課題、出席	100	0	100	3	41	53	4	0
		マルチメディア演習Ⅰ	演習	37	製作発表、出席	100	0	100	3	49	49	0	0
		マルチメディア演習Ⅱ	演習	16	製作発表、出席	100	0	100	13	33	40	13	0
		ビジネス実務概論	講義	109	定期試験、平常点	96	0	96	0	17	72	7	4
		ビジネス実務演習	演習	46	定期試験、平常点	96	0	96	0	28	59	9	4
		海外特別講義Ⅰ	講義	107	担当者により異なる。	100	0	100	2	67	31	0	0
		海外特別講義Ⅱ	講義	105	担当者により異なる。	100	0	100	2	60	37	1	0
		海外特別講義Ⅲ	講義	30	担当者により異なる。	100	0	100	3	73	23	0	0

〔注意〕 1. 上表の単位取得状況欄の本試、再試等とは単位認定試験を行った場合のことで、短期大学の実態に合わせて適宜記載して下さい。

2. 上表の最終の評価欄の優・良・可とは評価ランクを示したもので、A・B・C等を使用している場合は、短期大学の実態に合わせて適宜記載して下さい。

3. 授業科目等が昨年度と大幅に変更がある場合には、訪問調査の際に確認させていただくことがあります。

※表中に「SU 評価科目」(出席重視科目)、「R 評価科目」(単位認定科目)、不開講科目等は含んでいない。

#### ④単位認定及び成績評価について

本学の成績評価は、各授業科目の成績を100点満点の評点で提出し、成績通知書・証明書作成の際の成績表記は「㊤・A・B・C・D」に換算する方法を用いている。評点との関係は次のとおりである。

- ㊤・・・ 100点 ～ 95点 (合格)      A・・・ 94点 ～ 80点 (合格)  
 B・・・ 79点 ～ 60点 (合格)      C・・・ 59点 ～ 50点 (合格)  
 D・・・ 49点 ～ 0点 (不合格)

また、他大学において修得した単位、外国大学の語学研修等において修得した単位、既定の検定試験・資格試験に合格した場合も単位を認定している。その場合の成績表記は「R」である。

なお、授業科目間で上位成績が偏向することを防ぐ目的で、㊤とAの成績については、「相対評価」を採用している。㊤とAの割合は次のとおりである。

- ㊤・・・・・・・・ 5%以内      A・・・・・・・・ 40%以内

#### ⑤GPAについて

教育のグローバル化の進展と共に、編入学・留学・就職等の際に、成績評価の方法として「GPA」を求められる機会が多くなり、平成17年度から成績通知書に「GPA」を記載するようになった。成績評価との関係は次のとおりである。

成績評価	GP	成績評価	GP
㊤・・・・・・・・	4	A・・・・・・・・	3
B・・・・・・・・	2	C・・・・・・・・	1
D・・・・・・・・	0		

なお、GPAの計算式は次のとおりである。

履修登録各科目の Grade Point を  $X_1, X_2, \dots, X_n$  とし、その各科目の単位数を  $Y_1, Y_2, \dots, Y_n$  とすると、GPA は次の計算式で算出する。

$$\text{GPA} = \frac{X_1 \times Y_1 + X_2 \times Y_2 + \dots + X_n \times Y_n}{Y_1 + Y_2 + \dots + Y_n}$$

(2) 学科長等がそれぞれの学科について、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状についてどのように受け止めているかを記述して下さい。

### ①現代ビジネス学科

現代ビジネス学科の授業科目は、実践科目としてのコンピュータ関連科目および演習としてのゼミナールを除いて、すべて定期試験を実施している。定期試験結果に、課題・レポートなどの資料を加味した単位認定は、学生を多面的に評価することになり、評価できる。また、上位成績評価について相対的評価が、厳格に行われているので、いわゆる楽勝科目が存在しない。

欠席した日を出席した日に読み替えるためのレポート提出は、一切行われていない。定められた授業欠席回数を超えた場合は、定期試験の受験資格がなくなる。そのため、学生の出席の士気を高め、不用意に休む学生は少ない。単位取得不能となるのは、病気等のため授業出席回数が悪くなり、定期試験無資格者となる場合や授業内容を理解できずにD評価になってしまう場合が考えられる。

各担当教員が、申し合わせに沿った通りの評価を行っているので、学生に不公平感が生じていない。

### ②英語コミュニケーション学科

本学では出席率を重要視し、予定授業回数の3分の1を超えて欠席した場合は、定期試験の受験資格を失う。他大学に見られるように、ほとんど出席しなくても単位が取れるということは、本学では決して見られない。試験も必ず決められた期間中に実施しなければならない。その意味で、厳格な単位認定をしている。単位の取得状況については、ときどき卒業必須単位数ぎりぎり、卒業時に問題となる学生もいるが、多くの学生が多めに履修しており、問題はない。

(3) 学長等は、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状について、短期大学全体の状況をどのように受け止めているかを記述して下さい。

本学は、学生の成績通知書に単位取得状況と5段階評価を記載するとともに、平成17年度からは総合評価としてGPAの数値を記載している。GPAは学生の就学状況を把握する上で有効であることは論をまたないが、本学では創価大学の3年次推薦編入制度などで希望者を選抜する際に、これを用いている。3年次推薦編入制度には、毎年推薦枠(55名)の2倍近い希望者がいて、高い競争率になっている。したがって、選抜には高い公平性が要求されるのであるが、そのためにはGPAの数値が個々の学生の實力を正確に示すものでなくてはならない。

本学では教員が担当科目の評価を行う場合、AおよびA評価の割合(履修者数に対する)

を定めているが、これまで評価が「甘い」教員もいたので、学長としてバイアスが生じないよう教授会などで注意を促してきた。その結果、教員ごとの5段階評価の分布は、以前見られたような突出したケースはなくなってきている。

### 【授業に対する学生の満足度について】

(1)各授業について、終了後に「学生の満足度」の調査を実施していればその調査の概要を記述して下さい。また調査票の様式等を訪問調査の際にご準備ください。

各セメスターの最終授業の際に、全学・全授業科目について、学生による授業アンケートを実施しており、その「授業アンケート」のなかに「授業に対する学生の満足度」調査を含めている。

その設問は次のとおりである。(参IV - 1)

○全体評価として、あなたはこの授業に満足しましたか？

1. かなり満足 (5点)    2. ほぼ満足 (4点)    3. なんとも言えない (3点)    4. やや不満 (2点)    5. かなり不満 (1点)

○前問で「かなり満足」か「ほぼ満足」に答えた方は、満足の理由として以下の中であてはまるものがあればお答えください。(2つまで選択可)。

1. 知的興味が高まったり、学習意欲が増した    2. 教員の人柄が良かった  
3. 新しい知識やスキルが身についた    4. 課題をやり遂げる醍醐味を知った  
5. 苦手意識を克服できた    6. 楽しく受講できた

この設問に対する調査結果は次のとおりである。

H19年1月調査

問題	全回答者数	学科		学年	
		現ビ	英コ	1年次	2年次
○全体評価として、あなたはこの授業に満足しましたか？	3822	2152 (4.17)	1670 (4.14)	2547 (4.12)	1275 (4.24)

(内は、5点満点での評点)

○前問で「かなり満足」か「ほぼ満足」に答えた方は、満足の理由として以下の中であてはまるものがあればお答えください。	回答数	( )内の数字は回答数に対する構成比(%)			
		現ビ	英コ	1年次	2年次
1. 知的興味が高まったり、学習意欲が増した	1492	865 (13.59)	627 (9.85)	918 (14.43)	574 (9.02)
2. 教員の人柄が良かった	1874	1081 (16.99)	793 (12.46)	1226 (19.27)	648 (10.18)
3. 新しい知識やスキルが身についた	1592	951 (14.95)	641 (10.07)	1030 (16.19)	562 (8.83)
4. 課題をやり遂げる醍醐味を知った	224	119 (1.87)	105 (1.65)	191 (3)	33 (0.52)
5. 苦手意識を克服できた	112	51 (0.8)	61 (0.96)	89 (1.4)	23 (0.36)
6. 楽しく受講できた	1069	549 (8.63)	520 (8.17)	725 (11.39)	344 (5.41)

(2)担当教員が授業終了後の学生の満足度に配慮しているかについて、学科長等が現状をどのように受け止めているかを記述してください。

各教員が、授業終了後の満足度の結果を真摯に受け止めその後の授業に役立てている。満足度の調査時期は、授業終了直前の授業の満足度となっているが、期末試験に備えて学生自ら当該科目に更に研鑽を深めた後に調査すれば、満足度合いは更に上がるとおもわれる。

(3)学長等は短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

本学の教育の質は年々向上してきていると考える。学生は授業・ゼミナール等の学業に真剣に取り組み、それらに対する満足度も高い。それは強い愛校精神となって顕れている。その一例として、全国から集ってきている学生は夏期・春期休暇期間中に郷里に帰省した際、後輩の高校生に本学の受験を熱心に勧めるなど、自発的に受験生の開拓に取り組んでいる。

また、学生への教員の面倒見のよさに見られる人間性重視の教育の成果は、学生の日常生活に明確に顕れている。校舎内では日常的に挨拶が交わされており、本学への訪問者からは異口同音に学生の姿勢に対する高い評価をいただいている。

本学の学生は、基礎的な専門的・教養的知識を着実に蓄えながら、各種資格試験等にも実績を重ね、さらに人格形成の面で2年間に大きく成長しているが、これらは本学の教育の大きな成果であると考えられる。



### 【退学、休学、留年等の状況について】

(1) 過去3ヶ年（平成16年度～18年度）の退学、休学、留年等の数を、次の表を例にして学科等ごとに記載し、学科等の状況を明らかにしてください。

現代ビジネス学科の退学者等一覧表

19年3月31日現在

	16年度入学	17年度入学	18年度入学	備考
入学者数	193	191	193	
うち退学者数	5(内2除籍)	7(内除籍1)	0	
うち休学者数	3	5	1	
休学者のうち復学者数	0	0	0	
うち留年者数	2	5(次年度留年)	0	
卒業生数	183	174		

英語コミュニケーション学科の退学者等一覧表

19年3月31日現在

	16年度入学	17年度入学	18年度入学	備考
入学者数	140	160(内再入1)	165	
うち退学者数	3	1	2(内1除籍)	
うち休学者数	0	7	2	
休学者のうち復学者数	0	0	0	
うち留年者数	0	3(次年度留年)	0	
卒業生数	137	149		

(2) 退学者の退学理由割合、退学理由の最近の傾向及び退学者、休学者（復学者を含む）及び留年者に対する指導（ケア）の現状について学科等ごとに記述して下さい。

本学では、退学理由の割合等について学科による相違はないので、全学としてまとめて記述する。

- ① 退学者の退学理由割合、退学理由の最近の傾向は、病気療養がその大多数を占め、その他の経済的な理由、学風及び学科不適合の理由はごく少数となっている。なお、病気療養の内容として、精神的な疾患による修学不能がほとんどを占めており、近年、増加傾向にある。
- ② 退学者、休学者（復学者を含む）及び留年者に対する指導（ケア）については、まず、学籍異動の意志を申し出た学生に対し、学生課の学籍担当者が面談し、本人の状況の掌握の後、学生部長及びSA（スチューデントアドバイザー）と連絡を取り、場合によっては保護者を交えた面談により、学籍異動の理由が解消し、復学及び卒業へ向かえるように懇談を行っている。

特にその理由が病気療養に関する内容の場合は、病気療養に関する進展の状況も適宜連携を取り、対応している。また、休学期間終了の時期には、その後の状況を掌握し、復学への対応及び、休学の継続など、本人の状況に即した結論を導くために対応している。

(3) 退学、休学、留年等の現状を、学科長等がどのように受け止めているかを学科等ごとに記述して下さい。

本学では、退学理由の割合等について学科による相違はないので、全学としてまとめて記述する。

退学については、入学後、校風に合わない、あるいは進路の目標と教育内容が一致していない等の理由は、極少数であり、本学卒業生をまき込んだ入試の説明会、進学懇談会等により学科選択のミスマッチを防ぐことができていると思われる。休学、留年については、病気疾患によるものがほとんどで、余裕をもって勉学に戻れるまで、治療に専念するよう指導している。ただ最近では精神的、心理的疾患が少なく、学内に専門のカウンセリングルームを設置し、それらの学生に対応している。

(4) 学長等は、短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

本学の学生の退学、休学、留年等の現状については、それぞれ少数に止まっており、またその理由が明確になっている。今後、さらに学生のメンタルヘルスケアに力を入れていきたい。

**【資格取得の取組みについて】**

(1) 《Ⅱ教育の内容》の【教育課程について】(4)(9ページ)で報告頂いた取得が可能な免許・資格、また教育課程とは別に取得の機会を設けている免許・資格の取得状況(取得をめざした学生数、取得者数、取得割合等)を学科等ごとに示してください。

すべての資格について学科別に掌握しているわけではなく、下表のとおり、  
①学科別に掌握している資格と、②学科別に掌握していない資格に分けて示す。

①平成16年度～18年度の免許・資格の取得状況(学科別に掌握している資格)

免許・資格名称		取得を目指した学生数			資格取得者数			取得割合(%)		
		H16	H17	H18	H16	H17	H18	H16	H17	H18
英語検定 1級	現ビ学科	/	/	/	0	0	0	/	/	/
	英コ学科	/	/	/	0	0	1	/	/	/
	合計	/	/	/	0	0	1	/	/	/
英語検定 準1級	現ビ学科	3	3	0	0	0	0	0	0	/
	英コ学科	18	18	23	3	3	1	16.6	16.6	4.3
	合計	21	21	23	3	3	1	14.3	14.3	4.3
秘書検定 1級	現ビ学科	/	/	/	0	0	0	/	/	/
	英コ学科	/	/	/	0	0	1	/	/	/
	合計	/	/	/	0	0	1	/	/	/
秘書検定 準1級	現ビ学科	10	15	25	4	4	7	40.0	26.7	28.0
	英コ学科	4	8	12	1	4	1	25.0	50.0	8.3
	合計	14	23	37	5	8	8	35.7	34.8	21.6
ビジネス文 書1級	現ビ学科	19	16	31	3	2	11	15.8	12.5	35.5
	英コ学科	4	1	6	0	0	3	0	0	50.0
	合計	23	17	37	3	2	14	13.0	11.8	37.8
全経簿記 1級会計	現ビ学科	64	35	39	4	4	1	6.3	11.4	2.6
	英コ学科	0	0	0	0	0	0	/	/	/
	合計	64	35	39	4	4	1	6.3	11.4	2.6
全経簿記 1級工業	現ビ学科	44	23	41	24	8	20	54.5	34.8	48.8
	英コ学科	0	0	1	0	0	0	/	/	0
	合計	44	23	42	24	8	20	54.5	34.8	47.6

②平成16年度～18年度の免許・資格の取得状況(学科別に掌握していない資格)

免許・資格名称	取得を目指した学生数			資格取得者数			取得割合(%)		
	H16	H17	H18	H16	H17	H18	H16	H17	H18
実用英語検定2級	89	84	92	26	29	46	29.2	34.5	50.0
秘書技能検定2級	123	146	181	41	65	68	33.3	44.5	37.6
秘書技能検定3級	3	22	124	3	21	109	100	95.5	87.9

ビジネス文書検定2級	64	111	155	41	58	115	64.1	52.3	74.2
ビジネス文書検定3級	81	83	156	79	82	142	97.5	98.8	91.0
全経簿記2級	97	116	131	41	76	68	42.3	65.5	51.9
全経簿記3級	109	108	95	68	73	18	62.4	67.6	18.9
情報処理初段	46			8			17.4		
情報処理検定1級	85			20			23.5		
情報処理検定2級	145			75			51.7		
情報処理検定3級	0			0			0		
日本語ワープロ1級	49			13			26.5		
日本語ワープロ準1級	62			22			35.5		
日本語ワープロ2級	182			57			31.3		
日本語ワープロ準2級	62			38			61.3		
日本語ワープロ3級	6			6			100		
システムアドミニストレーター				1	1	0			
マイクロソフトオフィススペシャリストWord				0	27	68			
マイクロソフトオフィススペシャリストExcel				0	15	63			
TOEIC600点以上				45	18	30			
FP3級				0	0	10			

(2) 今後導入を検討している免許・資格があれば記述して下さい。

特になし。

### 【学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について】

(1) 学科等ごとに専門就職（当該学科等で学習した分野に関連する就職）の状況（専門就職数、割合等）について記述して下さい。また学科等ごとに専門就職先からの卒業生に対する評価について何か文書や資料があれば参考資料として準備して下さい。

現代ビジネス学科、英語コミュニケーション学科ともに、専門就職はない。（幼児教育学科や家政学科などではないため）

(2) 卒業生に対する就職先（専門就職に限らない）及びその他の進路先（編入先等）からの評価をどのように受け止めているかについて、短期大学全体については学長等が、学科等については学科長等が記述してください。

キャリア教育に直結する授業科目があることにより、進路先からは好評を得ている。編入大学先では、一般の学生を差し置いて奨学金を取得している例が多い。さらに、編入先の教職員から、卒業生の礼儀正しさやリーダー的存在となっていることなどの報告を受けている。また、就職先では、当初、対象ではなかった総合職に転換している卒業生も見受けられる。このような進路先の卒業生の活躍状況に接し、健気な健闘を称えたい思いで一杯である。

(3) 卒業生に対して「学生時代についてのアンケート（卒業後評価等）」等を実施している場合はその概要とその結果を記述して下さい。また教育の実績や効果を確認するための卒業生との接触、同窓会等との連携等を行っている場合もその取組みの概要と結果について記述して下さい。

進路支援の一環として、卒業生に対するアンケート（参IV - 3）（現在の勤務先や勤続年数、卒業後のキャリア、職場での活躍等を調査する目的のもの）を実施中である。アンケートの集計結果を参考に、進路支援業務のより良いあり方を見直し、業務を改善していきたいと考えている。

また、現役生の進路・就職支援のため、①OG 懇談会の開催、②OG インタビューの推進に取り組んでいる。

① OG 懇談会は、創大キャリアセンター主催と本学学生課主催の会があり、キャリアセンター主催は就職活動の業界・企業研究として実施し、卒業生と直接対面してリアルな情報を入手することで、就職活動時の企業選択に役立ててもらっている。本学学生課主催の会は、1年次の早い時期に将来を考える機会を提供する場として開催している。就業経験のない学生にとっては、社会を身近に感じられるいい機会となっている。

② OG インタビューは現役生が自主的に卒業生に連絡をとり、仕事に関するインタビューをすることを言う。同郷の先輩に電話し、地方の就職情報を入手したり、助言を受けたり、励ましてもらうことで就職への意欲が高まり、優良企業の内定を獲得している。全国から学生が集まってくる本学にとって、地方就職は大変困難であるが、各地域に戻った卒業生から絶大なる応援をいただき、Uターン就職を勝ち取っている。

なお、卒業後の評価、卒業生に対する評価としての取組みは、平成17年度特色ある大学教育支援プログラムに「学生の資格取得へ総合支援システム—学生自らがキャリアデザインを設計していく教育システムを構築している」で文部科学省に採択された際の資料として、卒業生に対する調査を行ったことがある。また、独自で卒業生の協力をいただいたアンケートをもとに、教育効果など調査研究報告を行っているゼミもある。

(4) 卒業生が社会からどのように評価されているか、学科長等、学長等は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

就職先の上司、及び編入・進学先の教員の方々から直接伺ったところによれば、卒業生の評価は、一般的に高い。協調性、積極性、献身性、創造性、そして礼節にも優れているとの評価を得ている。職場での表彰、進学先の優秀賞の対象になる卒業生が多いことでも裏付けられている。在学中に各自が「建学の指針」を研鑽・深化・体得した結果であると理解している。社会から信頼される卒業生の輩出に向け、学生の潜在力を引き出す教育に更に取り組みたい。

#### 【特記事項について】

(1) この《IV教育目標の達成度と教育の効果》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、教育目標の達成度と教育の効果について努力していることがあれば記述して下さい。

本学では両学科とも入学時、1年次終了時、2年次終了時の計3回、2年間の英語教育の達成度と教育の効果を判定するために、TOEIC-IPを実施している。その結果に基づき、両学科の英語関係科目、カリキュラムの検討、改善をしている。また学生にもそれぞれの成績をフィードバックし、自己学習の参考とさせている。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし。

- 〈参考資料〉
1. 「学生の満足度」の調査票の様式
  2. 専門就職先からの卒業生に対する評価についての文書や資料
  3. 卒業生アンケートの調査票等